

# 柔道畳復元プロジェクト 2023

鹿児島県畳工業組合  
理事長 安藤 勝

## ・事業目的及び概要

約 1300 年の歴史をもつ日本の畳文化、その畳は近年、生活様式の変化や建築の洋風化等により衰退してきており、それに伴い業界規模の減少、後継者不足等も重なり厳しい現状にあります。

鹿児島県畳工業組合としましても業界を盛り上げる何か起爆剤はないかと模索しているなか、今年は「燃ゆる感動かごしま国体」が開催されます。そこで我々に何かできることはないか考えたところ、今回、嘉納治五郎先生が携わった日本古来の柔道畳を現代の畳職人が技術を集結して復元し、盛り上げようということになりました。また、**古来の柔道畳表に使われていた七島藁が我が鹿児島県のトカラ列島で自生していたものが発祥であり、これも何かの縁ではないかと考えます。**

柔道の創始者そして日本人初の IOC 委員である嘉納治五郎氏も当時の畳職人と一緒になって柔道畳の開発に携わったとされています。

先人の技術を調べ、学び、そして復元することにより今までにはなかった学びや気づきが生まれ、継承することの大事さや使命感を再認識し、畳だけではなく「和の文化」を考えるきっかけになればと思い今回の事業に取り組みました。